

映画「隣る人」上映会@新宿 平成26年12月21日(日) 於：戸塚地域センター
主催：スキルポート早稲田 共催：NPO 法人 CAP ユニット 後援：新宿区／新宿区教育委員会

本日のプログラム：(司会進行 千野雅則)

- 18:00 受付開始
- 18:30 ご挨拶 (NPO 法人 CAP ユニット 三浦真津美)
- 18:40 映画「隣る人」上映開始
- 20:05 上映終了、休憩 (10分)
- 20:15 アフタートーク (映画「隣る人」企画 稲塚由美子、NPO 法人 CAP ユニット 門馬乙魅)
- 21:10 アフタートーク終了

初 めてこの映画を見たとき、監督が舞台挨拶で「これを児童養護施設についての状況や課題を伝えるための映画にするのを途中で止めた。人と人とのふれあいについての映画にすることにした」と言っていたのを覚えています。そのままに、これは単にある環境にいる子どもたちと、彼らに寄り添う大人たちについて

の映画です。そのようにして見れば、こうした大人と子どもとの関わりが、いまこの瞬間にも日本のどこかで継続しているということに驚きと感動を覚えます。

音 楽もナレーションもテロップもないこの映画には、声高な主義も主張もありません。画面にはその場所の日常があり、こちら側にはそれを受け止めている自分がいます。誰もがこの施設の保育士のように

はできないでしょう。しかし、それを受け止めて、せめて忘れないでいることはできる。それもまたひとつの「隣る」ことかもしれません。大きな声をではなく、小さくとも淡々と持続する営為を取り上げる。こうした映画をつくった制作者に拍手を送りたいです。

上 映会の実施にあたっては、いつの間にか多くの方々から「協力するよ」との申し出がありました。多くは小学校や中学校、学童クラブの活動で知り合った保護者のみなさんです。新宿区のごくふつうの保護者たちのノリの良さや行動力に感服しました。「上映会をやりたい」と声をあげてから今日まで、とても幸福な時間を過ごさせていただきました。心から感謝いたします。

S

(千野)

自 分自身の子育てで、フリーライターとしての仕事で、あるいはNPOの活動で常に「子どもが

健やかに育つには？」をテーマに考えてきました。その中で出会ったのが「人は人の中で人になる」という言葉です。当たり前のことのようですが、急速に発達した私たちの暮らしの中では「人の息づかい」が希薄になっていきます。便利さの代償として失われつつあるものの一つでしょう。

手 のぬくもり、側にいる人の匂い、ささやき、手作り感……。『光の子どもの家』の暮らしは、

私たちが少し忘れかけていた感覚を呼び覚ましてくれます。この映画を観て、幼い頃、母がよく膝の上に乗せて、ぎゅっと抱きしめてくれた時の柔らかくて温かい感触を思い出しました。また、娘が幼い頃「淋しくなっちゃった」と言って布団の中で添い寝している私の上に乗っかって眠りについていた時の感覚も甦ってきました。当時はたいへんだと思っていた暮らしがなんて幸せだったことか。何気ない日常の今こにいる瞬間を大切にしたいと思います。

今 回の上映会は主催者であるスキルポート早稲田の千野氏の強い思いがきっかけになって実現しました。会場に入れば、まさに手作りによるイベント

であると感じることでしょう。経済とか効率とかが最優先される私たちの暮らしの中で、最先端のIT技術を駆使して活動をしている一人のお父さんが、このような手作りの上映会に力を注いで実現したことをとても嬉しく思っています。子育てはお母さんだけが担えるものではありません。お父さんはもちろん、近くの人やコミュニティ、社会全体で担うはずのもので。今後は、たくさんのお父さんたちにも「隣る人」を作った方々、自主上映を企画する方々の思いが伝わっていくことを願ってやみません。

(三浦)



受付で書籍等を販売しています：

映画「隣る人」パンフレット（800円・税込）

シナリオ採録があります。映画の理解をより深めるためにもぜひお求めください。

『誰がこの子を受けとめるのか—光の子どもの家の記録』（著者：菅原哲男／特価：1,600円・税込）

菅原哲男さんは映画の舞台「光の子どもの家」の元理事長です。映画の中に何度も出てきますね。

『きみとうたった愛のうた～児童養護施設でくらしただけの頃に～』（著者：りさり／特価：950円・税込）

『いつか見た青い空』（著者：りさり／特価：950円・税込）

りさりさんは児童養護施設ご出身のマンガ家で、本書はその経験を素材にした作品集です。

「隣る人」オリジナル一筆箋（500円・税込）

椅子の片付けにご協力を：

会場撤収が21:45となっており、スタッフだけでは後片付けが間に合わない可能性があります。イベント終了後に椅子の片付けにご協力いただけるとたいへん助かります。

カンパのお願い：

本事業は助成金の申請をしましたが、残念ながら承認されず、会場費、チラシ印刷費など約15,000円を会員の持ち出しでまかなっております。また、参加費はすべて映画上映権の支払いとなります。もし、本事業にご賛同いただければカンパをお願いします。

公式サイト：<http://skill-boat.org/tonaru-hito.html>

スキルボート早稲田：<http://skill-boat.org>

映画「隣る人」：<http://www.tonaru-hito.com>

facebook ページ：<https://www.facebook.com/tonaru.hito.shinjuku>

NPO 法人 CAP ユニット：<http://www.cap-unit.jp/>

光のこどもの家：<http://www.hikarinokodomoie.com>